# 森中だより

6月号

令和3年6月18日発行

黄浜市立森中学校 校長 吉原 準-

昨年は、6月からの授業再開でしたが、今年は、昨年とは違います。しかし、県内の「まん延防止」は延長されています。1年生の遠足は、県内で6月4日に予定通り行い、2年自然教室は、10月に、1泊2日に変更して実施予定です。3年生修学旅行も6月5日からの予定でしたが、別日程で検討中となっています。

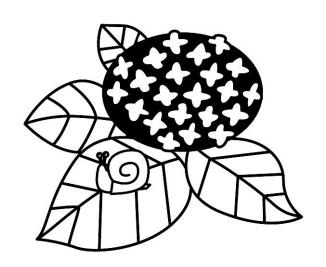
5月26日は、皆既月食でした。「なんだ、雲があって見えないや」と思った人は、いませんか?その雲の方向に、月食の月が隠れていることを知っているだけで、すごいことです。「雲の向こうに皆既月食」イコール「雲のいずこに月宿るらむ」です。日常の何気ないことに、気付いてゆきましょう。そして、日々の変化を感じ取ろう。

露草が咲き始めました。ブルーの中に目立つ黄色が、見える花です。

校長 吉原 準一

#### 1年生 鎌倉・江ノ島遠足を終えて

6月4日(金)に鎌倉・江ノ島遠足に行ってきました。当日は大雨で風もある状態でしたが、子供たちは元気よく楽しんでいました。遠足に向けて学活、総合でパソコンや冊子を使って、事前学習や班でのコース作りを行いました。そして事後学習を現在行っています。事後学習は完成後廊下に掲示する予定なので、来月の保護者面談の時に見ていただければと思います。またそれと同時に班の記録係を中心に撮影した写真も掲示します。今回の遠足で様々な経験をしたと思います。それを学校生活や、これからの行事にぜひ生かしてほしいと思います。



1年学年主任 中谷 郁

## 2年生 中学2年生になってきました

ちょうど1年前、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国に緊急事態宣言が発令されていました。6月から中学校生活が再スタートし、分散登校から一斉登校にかわっていったことが懐かしく思います。あれから1年、生活の中や学習に取り組む姿勢、部活での様子を見ていて、中学生2年生になってきたことを実感している今日この頃です。多くの生徒が今まで以上に自分自身を見つめ、悩み、葛藤している姿に成長を感じます。苦しいこともたくさんあると思いますが、一つひとつ乗り越えていってほしいと願っています。大人はその姿を時に見守り、励ましていきたいと思っています。

1ヶ月前に検討中だった自然教室が決定しました。10月に山梨方面へ1泊2日の宿泊行事を考えています。森奏祭の準備と重なる時期ではありますが、今からできることは準備をして、学年全員が楽しく、また思い出に残る行事になればと思います。

2年学年主任 内山 菜美

## 3年生 今後の進路について

自分の進路について、悩み始める時期になりました。何のために進学をするのか、進学後に何に取り組んでいくのか、はっきりせずにいる生徒も多いのではないでしょうか。しかし、自分の進む道を自分で決める時は、必ず訪れます。よくわからないからこそ、目的をはっきりさせるために「向き合う」ことが必要だと私は考えます。自分だけではわからないことが、たくさんあります。逆に、情報があふれているために、目移りしてしまうこともあるでしょう。情報を、ただ眺めているだけでは、自分の目的が見えづらい時もあります。そんな時こそ、周りの力を借りてみてはどうでしょうか。友達と、近くの高校や、興味のある高校について語り合う。実際に高校へ行って見学し、現地の高校生や先生に生の声を聞かせてもらう。保護者の方に高校時代の話を聞く。やり方は様々ですが、少しでも向き合おうとする主体的な動きをすることで、得られることは必ずあると思います。森中学校では6月25日(金)に、高校による進路説明会が行われます。そこでの内容を自分事としてとらえられると、進路のイメージがより膨らむでしょう。よくわからないからこそ、自分で飛び込んでみる行動力を、これからの進路選択に発揮してもらえたらと願っています。

3年学年主任 大谷 理仁

# 副校長コラム

#### 時は金なり

早くも本年度が始まってから、3ヶ月が過ぎようとしています。時の流れの速さを感じています。そして今年は、新型コロナウイルスの影響で、自宅で過ごす時間も増え、今まで以上に「時間」と「命」についても改めて考えさせられました。

さて、5月の連休中に私は「人生の時間銀行」吉田浩著を読む機会がありました。その本の中に、「時間銀行」アメリカのチェーンメールで広がった「時間二命」の話が書かれていましたので紹介します。

あなたの預金口座に毎朝、8万6400ドルが振り込まれます。しかし、 夜には、口座の残高は空っぽになってしまいます。つまり、その日に 使い切らなかった金額は、すべて消されてしまいます。あなたなら、 どうしますか?もちろん、毎日86,400ドル全額を引き出しますよね。

86,400 という数字を「時間」に置き換えてみましょう。1日24 時間は86,400 秒です。つまり、私たちには、毎朝86,400 秒が与えられています。そして、その日使い切らなかった時間は消されてしまいます。

翌日に繰り越されないし、他人に貸すこともあげることもできません。ですから使い切らなければそれを失うことになります。時間ですから、過去にもどることは出来ません。

今日与えられた時間の中から、今を生きなければなりません。だから、健康・幸せ・成功のために、与えられた時間を最大限に効果的に使いましょう。そのためには、あなたのもっている一瞬一瞬を大切にしましょう。

時間をお金に例えたものですが、エッセイで世界的に有名なアーノルド・ベネットさんの著書で紹介されているそうです。この話を読み進めるうちに、今までの自分の生き方を振り返り、恥ずかしいような気持ちになりました。月並みな言い方ですが、時間はとても大切です。時間は戻せないし、限られています。だから「今」、そして、「これから」を大切にして、豊かに生きていかなければと、改めて心に刻みました。

一方、『時間銀行』については、こんな話もあります。それは、自分のできることを誰かにしてあげると、その時間を貯蓄できる。そして貯蓄した時間分、自分も誰かに助けてもらうことができるという仕組みです。日本では昔から「情けは人のためならず」という言葉があります。本来の意味は、自分が誰かのためにした善行が、回り回って自分に返ってくるということです。生き方によっては、時間も貯めることができるものなのかもしれません。

保護者の皆さんや生徒の皆さん、地域の皆さんは、いろいろな形の毎日を工夫しながら過ごしていますが、この社会情勢において、ともすれば精神的なゆとりをもてずにいたり、自分のことだけで精一杯になってしまったり、周りへの配慮を欠かしてしまったりすることがあります。そんな時、この2つの『時間銀行』の話は、私たちの日常に豊かさをもたらしてくれるのかもしれません。



〇磯子区中学校バドミントン B 大会 女子ダブルス個人戦

準優勝 古田彩雪 山根万愛 ペア

第3位 元川愛彩 二方心蓮 ペア

〇男子ソフトテニス部市総体 磯子・金沢・西地区大会 男子個人戦 ※85ペア参加 祝・6ペア市大会出場!

準優勝 岡村 楓月 金 那瑠 ペア

ベスト8 小澤 勝翔 成毛 琢磨 ペア

ベスト 16 藤田 能大 前田 悟助 ペア、 成田 爽 五十嵐 無限 ペア 福田 湊士 友部 佳祐 ペア、 小林 咲翔 水井 孔明 ペア

〇女子ソフトテニス部市総体 磯子・金沢・西地区大会 女子個人戦 ※112ペア参加 祝・4ペア市大会出場!

準優勝 渥美 爽世 ・ 松本 佳苗 ペア

第3位 山田 葵 ・ 髙木 杏実 ペア

第5位 計良 花恋 ・ 坂間 柚梨 ペア

市大会出場 笹井 梨花 ・ 武田 咲子 ペア

森中学校のホームページでも情報を公開しております。 「森中学校」で検索してみてください。

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mori/

